

結腸癌に対する体腔内吻合の短期・長期成績に関する後向き・前向きコホート研究に関する研究

1. 研究の対象

2020/1/1-2021/12/31 の間に栃木県立がんセンターで腹腔鏡下結腸切除術を受けた結腸癌の患者さん

2. 研究目的・方法

腹腔鏡下結腸癌手術における体腔内吻合を行った患者の短期・長期成績を小切開創から行った体腔外吻合を行った患者と比較検討して体腔内吻合の安全性、有用性を評価すること。

研究実施期間：研究許可日～2026年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

手術時年齢、性別、身長、体重、糖尿病、心疾患、呼吸器疾患の有無、その他併存疾患の有無、腫瘍の部位、臨床所見ステージ、腹部手術既往、吻合法（体腔外・体腔内）、手術情報、病理結果など

4. 外部への試料・情報の提供

試料の提供はありません。

上記の情報を個人情報とは無関係の番号を付した上で、データセンター、および研究事務局のある大阪医科薬科大学病院の特定パーソナルコンピューター内にパスワードで保護した上で保管します。特定の関係者以外がアクセスできない状態で保管し、少なくとも研究終了報告日から5年が経過した日まで保管します。

5. 研究組織

腹腔鏡下大腸切除研究会 <https://www.jslcs.jp/>

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：栃木県立がんセンター 大腸骨盤外科 小澤平太

研究代表者：大阪医科薬科大学 一般・消化器外科学 李 相雄